

令和８年度 第２回 九十九里町地域公共交通会議 顛末書

1. 日時 令和８年６月１９日（金）１０時００分～
2. 場所 中央公民館 ３階 講義室
3. 出席者 別紙委員名簿のとおり
4. 会議の議事
 - （１）第１回九十九里町地域公共交通会議の書面決議結果について
 - （２）令和９年度（令和８年１０月-令和９年９月）地域幹線系統確保維持事業について
 - （３）タクシー助成券の利用状況について
 - （４）公共交通アンケート結果について
 - （５）バス通学定期運賃補助事業の利用状況について

委員名簿

九十九里町地域公共交通会議委員名簿					
区 分		所 属 ・ 職 名 等	氏 名		出席
1号委員	1	千葉県 総合企画部 交通計画課 地域公共交通担当課長	若 林 大 祐	新	○
	2	九十九里町副町長	片 岡 泰 隆	新	○
	3	九十九里町健康福祉課長	羽 斗 伸 一	新	○
	4	九十九里町まちづくり課長	木 原 隆 行		○
2号委員	5	九十九里鐵道株式会社 バス部 総括次長	古 川 敬		×
	6	京成バス千葉イースト株式会社 営業所長	今 井 明 彦		○
	7	千葉県バス協会 専務理事	成 田 斉		○
3号委員	8	有限会社片貝タクシー 代表取締役社長	松 島 健 一		○
	9	千葉県タクシー協会 東総支部 支部長	金 杉 幸 太 郎		○
4号委員	10	西の下自治区長	松 井 義 郎		○
	11	真亀丘1自治区長	木 原 信 幸	新	○
	12	真亀丘2自治区長	山 本 良 雄	新	○
	13	作田丘自治区長	林 章		○
	14	九十九里町社会福祉協議会事務局長	木 原 正 幸		×
5号委員	15	九十九里鐵道バス労働組合	宝 地 戸 祐 紀		×
6号委員	16	国土交通省 関東運輸局 千葉運輸支局 首席運輸企画専門官	福 浪 新 一		○
7号委員	17	千葉県東金警察署 交通課長	稲 田 良 太	新	○
	18	千葉県 県土整備部 山武土木事務所 次長	根 来 良 知		○
8号委員	19	東日本旅客鉄道株式会社 茂原統括センター 大網駅長	ト 部 大 介		○
	20	日本大学 理工学部 非常勤講師	藤 井 敬 宏		○
事務局	21	企画政策課長	鈴 木 桂	新	○
	22	社会福祉課長	糸 房 智 行	新	○
	23	商工観光課長	鈴 木 浩 之	新	○
	24	教育委員会事務局長	並 木 利 幸	新	○
	25	企画政策課地域政策係長	山 田 昌 之		○
	26	企画政策課地域政策係	牛 島 瞭	新	○

議事の要旨

	議事・意見等の内容・決定事項等
事務局	議事(1) 第1回九十九里町地域公共交通会議の書面決議結果について 《議事(1) 第1回九十九里町地域公共交通会議の書面決議結果について事務局より資料説明
会長	委員の皆様から、質問・意見等がございますか。 「なし」
事務局	議事(2)令和9年度(令和8年10月-令和9年9月)地域幹線系統確保維持事業について 《議事(2)令和9年度(令和8年10月-令和9年9月)地域幹線系統確保維持事業について事務局より資料説明
会長	委員の皆様から、質問・意見等がございますか。
福波委員	計画運行回数や輸送量等の要件は満たしているのか確認したい。
事務局	各要件については満たしております。 計画運行日数が365日 計画運行回数4783回 計画運行回数は1日13.1 計画平均乗車密度は4.5 計画輸送量は58.9人 経常赤字は見込まれます。
成田委員	この路線は千葉県の補助も受けてるか確認したい。また意見として、千葉県の分科会において計画運行回数等の資料があるはずなので、交通計画課より運行回数等の資料を取り寄せて協議会にかけると円滑に進むと思います。
事務局	千葉県からも補助を受けるということです。
若林委員	九十九里鉄道が運行している、片貝循環線については令和9年度は補助を受けずに路線の再編を協議されているということですのでよろしいですか。

事務局	はい。
若林委員	国に申請する書類の中にご質問あった事項は記載されているものがあるので、資料は共有いただければと思います。
藤井委員	今のやりとりはきちんと書類さえそろえば法定手続きに則って補助金申請できるので問題がございませんが、これに関してではないのですが、九十九里町周辺の自治体を見ると東金市、大網白里市、近隣の市町村がある。こういったときに広域幹線系統は市町をまたぐということで、補助金ありきといった現状で運用している計画のアプローチと、それから公共交通計画に則って、人口が減ってきたという話もありましたが、将来の5年10年をとかそういう状況を考えてた時に、トリップの移動の仕方、これはおそらく生活圏といった形で考えると、この九十九里町完結型の人がどれぐらいいるんだろうというところかと思います。大網白里市あるいはいすみですね。こういったところの周辺には生活圏のスーパーがあり、こういったところを求めていくという人が出てくる。そういった時に地域幹線系統といったキーワードをどういう形で将来的に位置づけるか。これは事務局の中で検討していただきたいと思います。事務局から県に頼るといったような手立てもあります。そういった中で、将来の計画の幹線系統、生活関連の系統としてどう位置づけていくか。これをそろそろ考えていただくのがいいかなと思います。今の案件に関しては全く問題ないのですが、将来に向けたアプローチをぜひ取っていただきたいと思います。
事務局	千葉県と連携を取らせていただき、リ・デザインについても取り組んでいきたいと考えていますので、なにかあれば公共交通の場をとおしてお願いしたいと思います。よろしくお願いします。
会長	委員の皆様から、他に質問・意見等はございますか。 「なし」 それでは本件は承認ということでよろしいでしょうか。

	「承認」
事務局	議事(3) タクシー助成券の利用状況について 《議事(3) タクシー助成券の利用状況について事務局より資料説明
会長	委員の皆様から、質問・意見等がございますか。
成田委員	こちらのタクシー助成券の九十九里町の公共交通計画の位置づけと目標に対する評価はどのように考えていますか。
事務局	タクシー助成については公共交通計画の中で具体的な人数や数値を定めてはおりませんが、次のアンケートの中にも出てくるのですが、困っている方はまだ沢山いるので、この公共交通会議の場でも議論を深めて、そういった方にも手が届く公共交通の仕組み、タクシーの利用が増えて日常の利用手段を確保できる仕組みを作っていかなければならないと考えています。
成田委員	タクシー助成券の検討が必要との考え方はわかりました。公共交通会議自体が年に2.3回と少ない回数なので、また、こうした利用状況についての現時点での評価を合わせてお示しいただければ理解が深まると思います。
藤井委員	利用した人が66.1%とある、タクシー助成券を申請してから、実際に利用した人数66%の人たちをさらに利用拡大を進めていく施策をとるのか、もしくは残りの利用していない人たちに対してどういうアプローチをとるのか、検討していただきたい。
事務局	全部使いきってない人はさらに全部使えるようにするというこ

藤井委員	とと、1回も使えない人に対してどうするかということによろしいですか。 1回も使っていない人に対してどうするかっていうこと、もうすでに7割ぐらい使っている人にもう少し使ってほしいということは、アプローチの仕方は違ったりする。その点はきちんと明確にしてください。
事務局	タクシー助成券の利用については、次の議題のアンケート結果も踏まえ課題の検討等今後も行います。
会長	委員の皆様から、他に質問・意見等がございますか。 「なし」
事務局	議事(4) 公共交通アンケート結果について 《議事(4) 公共交通アンケート結果について事務局より資料説明
会長	委員の皆様から、質問・意見等がございますか。
成田委員	こうしたアンケートをする際には公共交通会議の際にどのようなアンケートを実施するかといったところ協議したほうがよい。
事務局	次回アンケートをする場合はぜひ皆様の意見も伺いながら実施したいと思います。その際はよろしくお願いします。
会長	次回のアンケートは今年度中に行う予定はありますか。

事務局	今年度行う予定はございません。 このアンケート結果を踏まえて次回の施策の検討とし、次の施策をやったときに、次の施策のアンケートを行い、また次に活かしていくというサイクルとなります。
成田委員	来年度やるのであれば、プロトタイプのような項目だけでも出して委員の意見をいただいた方が、来年度になってまた出戻りっていうのもあれですから、次の会議があればアンケートの案でも出していただければ、どんどん後になってしまう気もするので、これをご検討いただければと思います。
事務局	次回アンケートをやる際は余裕をもって皆様にご意見いただければと思います。
藤井委員	こちらのデータベースの中からでもわかることがあります。例えば、普段から公共交通を利用するバス停近くの方は、公共交通の利便性の高い地域の人なのであまり増えない。それに対して、利用方法が分からない人は周知方法を改善するといいいのと、あるいは申請した人たちでもどの地域が本当に多いのか分析されるとよいと思います。
会長	アンケートの分析の仕方ですとか、次回アンケートを会議に諮る際、分析の検討結果等も入っているとよりよいかと思います。検討いただくといことでよろしいですか。
事務局	検討いたします。その際には藤井先生にもご教授いただきたく思いますのでよろしくお願いいたします。

成田委員	アンケートの結果の中に町内のみの運行だったから利用しなかった人がいるが、ただちに広げるということではないのですが、これをもし広げる場合には、バス事業とタクシー事業の調整が必要になりますが、県内では福祉の高齢者の方の足ということで、その当該地域よりも、町外でも例えば病院だけはタクシーで、料金の調整はあるかもしれませんが、そうしたものがいくつかの自治体で始まっています。町民の方にそれがどうなのかというのを把握したうえで、場合によっては、そういう病院とか福祉的な施設の時には、そちらの自治体の公共交通会議でも調整が発生しますけれども、そういうような事例がございますので、それも合わせて、ニーズを把握するというのも今でも出きると思いますので参考意見として述べさせていただきます。回答は結構です。
事務局	町外にというのも事務局側も聞いております。町内の移動はタクシーで、町外への移動はバスを使っただくというものが、九十九里町の公共交通の両輪でございますので、そういった観点から施策を取っています。 アンケート結果からも病院に行きたいという声があります。風邪をひいた際の病院などは町内にもありますが、眼科など専門的なものはないので、そうしたものについては公共交通会議の場で今議論していきたいと考えています。
稲田委員	免許を持っていてタクシーの助成をしている方もいらっしゃるのかと思いますし、免許を持ってなくてタクシーを利用している方もいらっしゃると思いますが、今交通事故の当事者となる方は約50%が高齢者というデータがあります。 どうしても車でないといけない場所があり、運転も怖いけども、事故を起こしてしまったということもある中で、このタクシー助成の制度をもう少し周知していただければ、運転免許を自主返納する背中を押し、事故のリスクを減らせるのかと思います。このアンケートの中で、この制度があれば、自主返納を考えたいというような人がどれぐらいいるのか、そういったことも入れていただけると、警察としても九十九里はこういった制度が

	あると周知協力できる。あと、免許を持っている人が、タクシーを利用するケースっていうのもどういうケースがあるのかなっていうのを知りたいなというふうに思いますので、そういった形の協議の方もよろしくお願ひしたいと思います。
事務局	次回アンケート調査をする際には、そこら辺もどういったことを聞いていきたいのかを皆様に伺いながらやっていきたいと思ひますので、その際はよろしくお願ひいたします。
会長	委員の皆様から、他に質問・意見等はございますか。 「なし」
事務局	議事(5) バス通学定期運賃補助事業の利用状況について 《議事(5) バス通学定期運賃補助事業の利用状況について事務局より資料説明
会長	委員の皆様から、質問・意見等はございますか。
会長	申請者数が33人で利用者数が29人というのは、申請して発行しているのだけれども、全員使われなかったのということですか。
事務局	町に申請したのが33人で定期を利用したのが29人です。
会長	定期を発行をしていないということですか。

事務局	その通りです。
会長	委員の皆様から、他に質問・意見等がございますか。 「なし」 《 閉 会 》 以上で第２回九十九里町地域公共交通会議を閉会いたします。 以上